

「教育長」コラム

今月は、「いのちの授業」の中から、ご紹介したいと思います。

私達は選ばれてこの世に『生』を受けました。自分を大切にする事、他者の気持ちに寄り添う事が『人』という文字の原点となっています。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、千年に一度というほどの大災害で、多くの尊い命が奪われました。悲しみを乗り越えて、震災直後の避難所で、列をなして食事を受け取る人々の映像が各国に放映され、日本人の持つ心の美しさが紹介されました。

ベストセラーとなった渡辺和子さんの著書「置かれた場所で咲きなさい」では、「咲く」ということは、仕方ないと諦めるのではなく、笑顔で生き、周囲の人々も幸せにすることです。置かれたところで自分らしく生きていけば、必ず見守って下さる方がいます。咲けない日があります。その時は、根を下へ下へと下ろしましょう。」

子供達に、咲かせる時間と場所を提供することも私達大人の使命と…

(浅利 美津子)

夏休み期間中の火災予防及び事故防止について

《火遊びによる事故が増加中！夏休みに気をつけて！》

子ども達にとって待ちに待った夏休みがやってきます。夏休みは学校や勉強から解放されて、学校以外での様々な体験ができる機会です。一方で子ども達の気も緩みがちになり、思わぬ事故に巻き込まれる心配があります。事故がない楽しい夏休みを過ごせるように、下記の注意事項を守りましょう。

- ①家の近くや燃えやすい物のある場所で花火遊びをしない
- ②花火に書いてある注意事項を守る
- ③花火は必ず大人と一緒に遊ぶ
- ④マッチやライターを持ち歩かない
- ⑤子どもの手の届くところにマッチやライターを置かない



※保護者の方へ

夏休み期間中、子ども達の自由時間が多くなる分、危ない目に遭う危険が高くなります。

大人が、子どもにどんな危険があるのか丁寧に指導し、子ども自身が自分の身を守るために必要なことを教えてあげてください。

【お問い合わせ先】二ツ井消防署藤里分署 ☎79-1119